

おのれお見しました。お（お）稿
の序文もお見しました。お人々
世の二つともうとるのていなる極
内輪の方ニお出とてお（お）
のまにききおいら。おものもい
おのれお人を保ぶ程とあるも
のは、お入札になるのの（お）か
えお見ました。お（お）まよ（お）
の（お）まよ（お）まよ（お）まよ（お）まよ（お）
ますが、お（お）まよ（お）まよ（お）
お（お）まよ（お）まよ（お）まよ（お）
お（お）まよ（お）まよ（お）まよ（お）
のりにくい。お（お）まよ（お）
刑士にはお（お）まよ（お）

仙臺市新坂通

小宮 豊 隆

十二月二十七日